

ファシリテーターズ静岡

代表：杉山 恵子

「伝える・伝わる技術」講座

おもいを的確に伝えるためのコツ、あります！

実施日時：第1回 8月25日（土）13：30～15：30

第2回 9月22日（土）13：30～15：30

第3回 10月27日（土）13：30～15：30

第4回 11月24日（土）13：30～15：30

第5回 12月22日（土）13：30～16：00

実施場所：①アクティシティ浜松コンgresセンター54 会議室

②・③浜松市科学館第1・2 講座室

④浜松市男女共同参画推進センター会議室

⑤アクティシティ浜松研修交流センター405 講座室

参加者：延140人（①42人、②28人、③27人、④28人、⑤15人）

連携・協働団体：ふれあいサポートネットふわっと（子育て支援グループ）

入野子どもクラブ（子どもの居場所づくり事業）

静岡県立大学国際関係学部犬塚ゼミ

1. 事業目的

地域社会のあらゆる人々に男女共同参画を推進するために、既に学んだ男女共同参画の知識に加え、伝えるためのスキルと伝わる技術を実践方式で学んでいくことを目的とする。

2. 事業内容

講座全体のアドバイザーとして県立大学犬塚協太教授と、スキルアップのレクチャー講師として静岡サレジオ高等学校の中村さとみ先生を迎えて、男女共同参画の講義、出前学習に必要なスキルと「伝える・伝わる技術」を学ぶ講座を開催した。

受講生は講座の中で、男女共同参画推進のための学習（中学生向け50分）の指導案を作成し、また、今回の講座とは別の日程で受講生が実際に当グループが講師を務める中学生（浜松市立入野中学校3年生8クラス）の出前学習を見学した。

講座の資料には、静岡県作成の「男女共同参画を考える副読本」（小学生向け、中学生向け、高校生向け）を使用した。

3. 事業の実績

5回シリーズにて開催した「伝える・伝わる技術」の講座から男女共同参画の講義と出前学習に必要な技術について学ぶことができ、講師の先生からは毎回細やかなアドバイスを受けることができた。

受講生は、出前学習を行なう先の学校側に「男女共同参画学習の必要性」を伝えるための手法と、出前学習（50分間）に必要な指導案を作成することができ、また、対中・高生の学習で必要となる「伝えるために必要な伝わる技術」を身に付けることができた。

4. 事業の効果

さまざまな活動（子育て支援、介護、地域役員など）を行なう受講生が、自身の活動に男女共同参画の視点を取り入れた講座の指導案を作成することができ、他者に伝わる伝え方を学ぶことができた。

講座生のほとんどが、平成25年度より中・高校にて出前学習を行うために、講座内にて作成した指導案を基に企画立案を始めている。

また、県の副読本を利用する機会ともなり、各団体が副読本の存在を知り、今後の活動にて有効活用していくための一助となった。

第1回 「今、男女共同参画を伝えるために」(講演:静岡県立大学 犬塚協太教授)

8月25日(土)13時30分より、アクトシティ浜松コンgresセンター54会議室にて、県立大学国際関係学部の犬塚教授による公開講座「今、男女共同参画を伝えるために」を開催した。

犬塚教授は、まず最初に、男女共同参画の推進は21世紀の最重要課題であり、日常生活の場全て(家庭や職場、地域など)において取り組む必要があると話された。

そして、あらゆる社会活動に男女共同参画の視点を持ち、男女共同参画を、あらゆる社会活動を通して伝え訴えていく必要があることを分かりやすく話され、参加者は熱心に聞き入った。

また、多様な価値観や生き方を相互に尊重しつつ(性別からの自由)、社会全体に存在しているジェンダーに起因する不平等、不公正を少しずつ改めていく(性別についての平等)ために連帯しながら声を上げていくことが大切であることと、男女共同参画社会は、女も男も、性別にとらわれず、皆が個人としての個性と能力を尊重し合い、それが十分発揮できる、楽で、風通しの良い、多色刷りの世界であることを話され、参加者にエールを送った。

公開講座には、男女共同参画を初めて聞くという20代の男性4人と外国人の親子(父と中学生の息子)が参加。講座終了後に、外国人の父親が犬塚教授に「お話を聴くことができて良かった」と挨拶し、「男女共同参画での問題点は、私たち外国人が受けている差別と同じ」と話された。

私たちは、男女共同参画の推進と共に、あらゆる偏見に対しても改めて考える機会となった。



犬塚協太教授の講義の様子

第2・3・4回 「伝える・伝わる技術講座」(講師:静岡サレジオ高等学校 中村さとみ先生)

第2回から4回目は、静岡サレジオ高等学校の中村さとみ先生による「他者に伝える」ための「伝わる技術」を学ぶスキルアップ講座を開催した。

■第2回は、9月22日(土)13時30分より、浜松市科学館の第1・2講座室にて「伝えたいことは何？」というテーマで行われ、講座生は4つのグループに分かれてグループワークを行なった。グループでは、自分たちの活動の中で、男女共同参画の視点を持ち「だれに何を伝えたいのか」を話し合い、発表した。

■第3回は10月27日（土）13時30分より、浜松市科学館の第1・2講座室にて「伝える方法を組み立てる」というテーマで、「伝える内容」を組み立てることの大切さに加え、「何を」→「どこまで」伝えたいかを明確にし、伝えたことによって「どうなってほしい」のか（期待すること）、そしてそれを「どうやって」伝え→「考え」→「気付かせるか」を考えた。

また、伝えたい内容を組み立てる方法として「指導案」の作成にチャレンジすることになり、第4回の講座までに「各自が活動する内容について指導案を作成する」ことが宿題となった。



質問する講座生

■第4回は11月24日（土）13時30分より、浜松市男女共同参画推進センター会議室にて「そして、どう伝えたいか？」というテーマで開催した。

最初に、前回の宿題である指導案を各自が発表。発表した指導案について、それぞれ中村先生より講評をいただいた。他の受講生からも質問等を受けて、より分かりやすい指導案を作り上げることができた。

中村先生からは、最終回に向けてグループごとに男女共同参画の視点を持った出前学習の企画案（指導案）を作成する宿題が出された。

第5回 公開プレゼンテーション（講師：犬塚協太教授／中村さとみ先生）

12月22日（土）13時30分より、アクトシティ浜松研修交流センター405講座室にて、受講生の作った男女共同参画の視点を取り入れた出前講座の企画案（指導案）の発表を行なった。

始めに、中村先生による「人に伝えるためのテクニック」などの講義が行なわれ、その後、受講生（浜松市中区富塚校区子育て支援サークル：チーム富塚）が「中高生のコミュニケーション力アップ学習～相手も自分も気持ちよく～」のプレゼンテーションを行なった。



講師の中村さとみ先生



プレゼンテーションを行なう受講生

中村さとみ先生による講評の後、犬塚協太先生からは講座全体に対する講評と、受講生と参加者へ「地域の一員として男女共同参画を推進することの重要性」と「欲張らずに一步一步推進していく大切さ」についてのお話があり、講座は終了した。

《講座を終えて》

チーム富塚は、講座終了後、中村先生から受けた改善点について検討する会を設け、講座で作成した指導案を基に、平成25年度より出前学習を開催する準備に取り掛かっている。

1. 学習の目的

現在、学校教育現場では「近頃の子どもたちはコミュニケーション能力がない」また「子どもたちの表現力が著しく低下している」といった発言が多く聞かれる中で、中高生が楽しい学校生活を送り、「いじめ」や「キレる」という現象をできる限り少なくするような人間関係を形成していくために必要なコミュニケーション能力の基礎的な要素である「みる・きく・つたえる」ことの重要性について学び、お互いの違いを認め合い、優しさを培うことの大切さに気づくことを目的とする。

2. 学習の方法

所要時間	50分間	学習形態	クラス毎（教室）
講師	各クラス1名	準備物	A4の紙（生徒1名に1枚／人数分）

3. 学習の進め方

(1) 導入（5分）

①ガイダンス ・講師の自己紹介 ・学習の目的と内容の説明

②ウォーミングアップ

・講師の指示で、A4の無地の紙に図形を書く。（ルール：質問をしない、他）

(2) 展開（35分）

①「みる」ことの大切さについて <10分>

- ・生徒1名が前に出て、講師と会話のやりとりをする。
- ・講師は前に出た生徒の顔を見ないで話したり、よく見て話すことを行ない、生徒は相手の顔をしっかり見て話すことと、聞く姿勢や話す姿勢の大切さについて考える。

②「きく」ことの大切さについて <10分>

- ・生徒は二人一組になり、決められたテーマについて一人ずつ3分間の話しをする。
- ・相手から聞いた話しの中で、心に残った内容を紙（図形を書いた裏）に書く。

③「つたえる」ことについて <5分>

- ・②で書いた内容（心に残ったこと）を、お互いに相手に話す。

④振り返り <13分>

- ・相手が話すときに、しっかり顔を「みて」話しを「きく」ことができたか。
- ・「きく」姿勢、「つたえる」姿勢について
- ・相手に感想を伝えるときに注意した点（声の大きさ、スピードなど）
- ・自分が話した内容が、相手に伝わっていたかを振り返る（挙手もしくは指名で、発表させる）
- ・情報を伝える方法として、「話す」ことだけでなく他の方法もあることについて、生徒に質問し回答を求める。
- ・生徒からの質問を受ける

4. まとめ（7分）

導入で行なった図形を書く作業から、情報を聞いて正確に図形を書くことの大変さと質問をしないで書くことの不安感について触れ、相手と話すときは“相手をよく見て”話を“よく聞き”会話を通してお互いの気持ちや情報を伝え合うことで、人間関係力を培うことができ、他の手段を用いた場合でも情報や気持ちを分かりやすく優しさをもって伝えることの重要性について伝える。

また、書いた図形が生徒一人ひとり違っていることについて「違ってあたりまえ」で、人はそれぞれ違いを持って生まれていること、そしてその違いを認め合うことが大切であり、違っ

ていることは「間違い」ではないことを伝える。

生徒をとりまく社会の中では、さまざまな国籍、年齢、性別の人がいて、それぞれ違いはあっても「人」として同じ人間であり、お互いにその違いを認め合うことが重要であり、思いやりを持って相手に接することは「自分も相手も気持ちの良いこと」であることも伝える。

学習指導案

中高生のコミュニケーションカアップ学習 ～相手も自分も気持ちよく～

1. 学習の目的

中高生が楽しい学校生活を送り、「いじめ」や「キレル」という現象をできる限り少なくするような人間関係を形成していくために必要なコミュニケーション能力の基礎的な要素である「みる・きく・つたえる」ことの重要性について学び、お互いの違いを認め合い、優しさを培うことの大切さに気づくことを目的とする。

2. 実施(指導)計画

平成〇〇年 〇〇月 〇〇日 〇〇時 ～ 〇〇時 所要時間：50分間
浜松市立〇〇中学校〇年生 会 場：各教室

3. 準備物 生徒一人に一枚のA4の紙

時間	学習活動(学習内容)	指導者の動き	留意点・他
5分	導入 挨拶と自己紹介 学習の目的と内容の説明 ウォーミングアップ 講師の指示で、A4の無地の紙に図形を書く。(ルール：生徒は質問をしない)		担任の先生はA4の紙の配布を手伝って下さい
10分	「みる」ことの大切さについて考える 生徒1名が前に出て、講師と会話のやりとりをする。生徒は相手の顔をしっかりと見て話すことと、聞く姿勢や話す姿勢の大切さについて考える	前に出た生徒の顔を見ないで話したり、よく見て話すことを行なう	担任の先生は、前に出る生徒を指名してください
10分	「きく」ことの大切さについて考える 生徒は二人一組になって決められたテーマについて一人ずつ3分間の話をする 相手から聞いた話しの中で心に残った内容を紙に書く	隣同士で二人一組になるように促す 3分間ずつのカウントをする 導入時に図形を書いた紙の裏に書かせる	
5分	「つたえる」ことについて考える 紙に書いた内容を相手に話す	約2分ずつ話すことを指示する	
13分	振り返り 「みる」「きく」「つたえる」ことができたかを振り返る(考える) 話す以外の情報手段を考える 講師に質問をする	挙手させる/指名する 生徒から質問を受ける	
7分	まとめ 目的の確認		

おもいを的確に伝えるためのコツ、あります。

ファシリテーターズ静岡では以前、中村さとみ先生をお招きして「伝わる技術」講座を開催しました。その時は、「中学生向けの男女共同参画の授業を1本作る」ということを想定しましたが、今回は、中学生に限らず社会の様々な場面（子育て、環境教育、防災等）で男女共同参画の大切さに気づききっかけを探し、男女共同参画の視点によっていろいろな課題を解決する企画作りを行います。基礎から始めますので、初心者の方も大歓迎です。どうぞご参加ください！

第1回 2012年 8月25日 (土) 13:30 ~ 15:30 「今、男女共同参画を伝えるために」 講師 犬塚協太教授	第4回 2012年 11月24日 (土) 13:30 ~ 15:30 「そして、どう伝えるか？」 講師 中村さとみ先生
第2回 2012年 9月22日 (土) 13:30 ~ 15:30 「伝えたいことは何？」 講師 中村さとみ先生	第5回 2012年 12月22日 (土) 13:30 ~ 15:30 「公開プレゼンテーション」 講師 犬塚協太教授 中村さとみ先生
第3回 2012年 10月27日 (土) 13:30 ~ 15:30 「伝える方法を組み立てる」 講師 中村さとみ先生	

伝える・伝わる技術

募集内容

- 主催 ファシリテーターズ静岡
- 共催 NPO法人 静岡県男女共同参画センター交流会議
- 協働 ふれあいサポートネットふわっと、入野子どもクラブ
- 会場 **第1回** アクトシティ コンgressセンター54会議室
浜松市中区板屋町111-1
第2回～第4回 浜松科学館 第1・2講座室
浜松市中区北島寺町256番地の3
第5回 浜松科学館 (予定)
- 受講料 無料
- 定員 第1回50名 第2回以降30名
- 対象者 ・男女共同参画を学んだことのある方
・授業に興味のある方
- 申し込み・お問い合わせは
ファシリテーターズ静岡・杉山まで
- ✉ yoo@ka.tnc.ne.jp
☎ 090-3553-4052



講師 中村さとみさん
(静岡サレジオ中学・高等学校 教諭)

高校1年生を担任する現役の教諭。地歴、公民、福祉、宗教と4つの教員免許を駆使し、中学校と高校の両教壇に立つ。大学受験を見据えた予備校型授業から介護実習までと守備範囲は広いが、根底にあるのは、常にヒューマニズムの精神。新聞を教材とするNIEへの取組みも長く、人権や平和学習、好きな文化史には思わず力が入ってしまうという。「わかりやすい！」話術や板書、「シャキーンと目覚める！」テンポの良い授業には定評がある。



講師・監修 犬塚 協太さん
(静岡県立大学国際関係学部 教授
/同大学男女共同参画推進センター長)

1991年 東京大学大学院社会学研究科修士課程修了、同年静岡県立大学国際関係学部助手。同専任講師、助教授を経て2007年教授。専門分野は家族社会学、ジェンダー社会学。主な社会活動(男女共同参画関係)としては、国立女性教育会館外部評価委員、静岡県しずおか男女共同参画推進会議教育部長ほか多数の委員長、会長、理事を歴任。